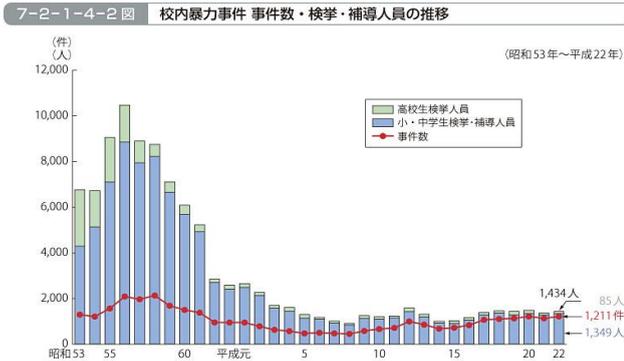


1, abstract

There are currently many cases of corporal punishment in Japan. There was a time when corporal punishment was acceptable, but now it is prohibited by law. How has the public view of corporal punishment changed with the passage of time? For this survey, we limited our research to violent corporal punishment.

2,研究背景・目的

現在の日本の体罰件数は約2300件である。昭和から、比べてみると、減少傾向にあることがわかる。



注 1 警察庁生活安全局の資料による。
2 平成12年以降は、小学生を含む。

3,仮説

時代の変化ではなく、体罰に関する事件が起きたから現在のように体罰が禁止となったのではないか。

4,研究方法

今までの体罰事件について取り上げている新聞記事を比較し、体罰に対する人々の見方を調べる。

昭和の新聞



平成・令和の新聞



【朝日新聞】2015年1月31日 【中京新聞】2020年2月19日

5,結果・考察

体罰問題に関する記事は、昭和は体罰をなくすように呼びかける形であったが、平成からは体罰問題での教員の処分件数を大きく載せ、体罰は犯罪であるという認識を高め、世間の目は体罰にシビアになっていることがよく分かる。体罰は犯罪行為であるという認識を高めるためには、世間の考え方が反映されやすい新聞などで呼びかけるべきであると考えます。

6,結論ならびに今後の展望

体罰は学校教育法第11条で禁止されている犯罪である。時代の雰囲気やその場の状況に関係なく、体罰はしてはならないという認識が必要であるが、未だに毎年多くの子どもたちが体罰被害にあっている。体罰を黙秘する教師、教育委員会は今もなお存在している。これからも簡単には無くなっていただろう。考えるだけでなく、行動に移すことが大切である。

また、今後もメディアなどで体罰事件などを取り上げて、発信していくことが必要である。

7,引用文献・参考文献

朝日新聞

http://tmaita77.blogspot.com/2013/03/blog-post_30.html

朝日新聞(2015年1月31日)

<https://watanabexxtatsuya.i-ra.jp/e850120.html>

中京新聞(2020年2月19日)

<https://www.chunichi.co.jp/article/226797>